

大学連携による新たなまちづくり

東広島市
経営戦略担当理事 栗栖 真一



- 1. 東広島市の概要**
- 2. 外国人市民の状況**
- 3. これまでのまちづくり**
- 4. さらなる発展のための大学との連携**
- 5. Town&Gown構想の展開**
- 6. 共創コンソーシアムと次世代学園都市構想**
- 7. 今後の方向性**

1. 東広島市の概要

2. 外国人市民の状況

3. これまでのまちづくり

4. さらなる発展のための大学との連携

5. Town&Gown構想の展開

6. 共創コンソーシアムと次世代学園都市構想

7. 今後の方向性

1. 東広島市の概要

■人口 : 190,504人 (R4.11月末住民基本台帳)
外国人 : 8,174人 (4.3%)

■市の特色 : 4つの大学が立地する学園都市

(広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、エリザベト音楽大学)

- ・ 広島大学の統合移転を契機に「東広島市」が誕生 (昭和49年)
- ・ 大学・試験研究機関や先端技術産業が集積し、研究者・技術者・学生のほか、留学生を含む外国人も多く住む。
- ・ 人口は増加傾向。

- ・ 酒どころ (吟醸酒のふるさと)
- ・ シャインマスカットのふるさと



1. 東広島市の概要

2. 外国人市民の状況

3. これまでのまちづくり

4. さらなる発展のための大学との連携

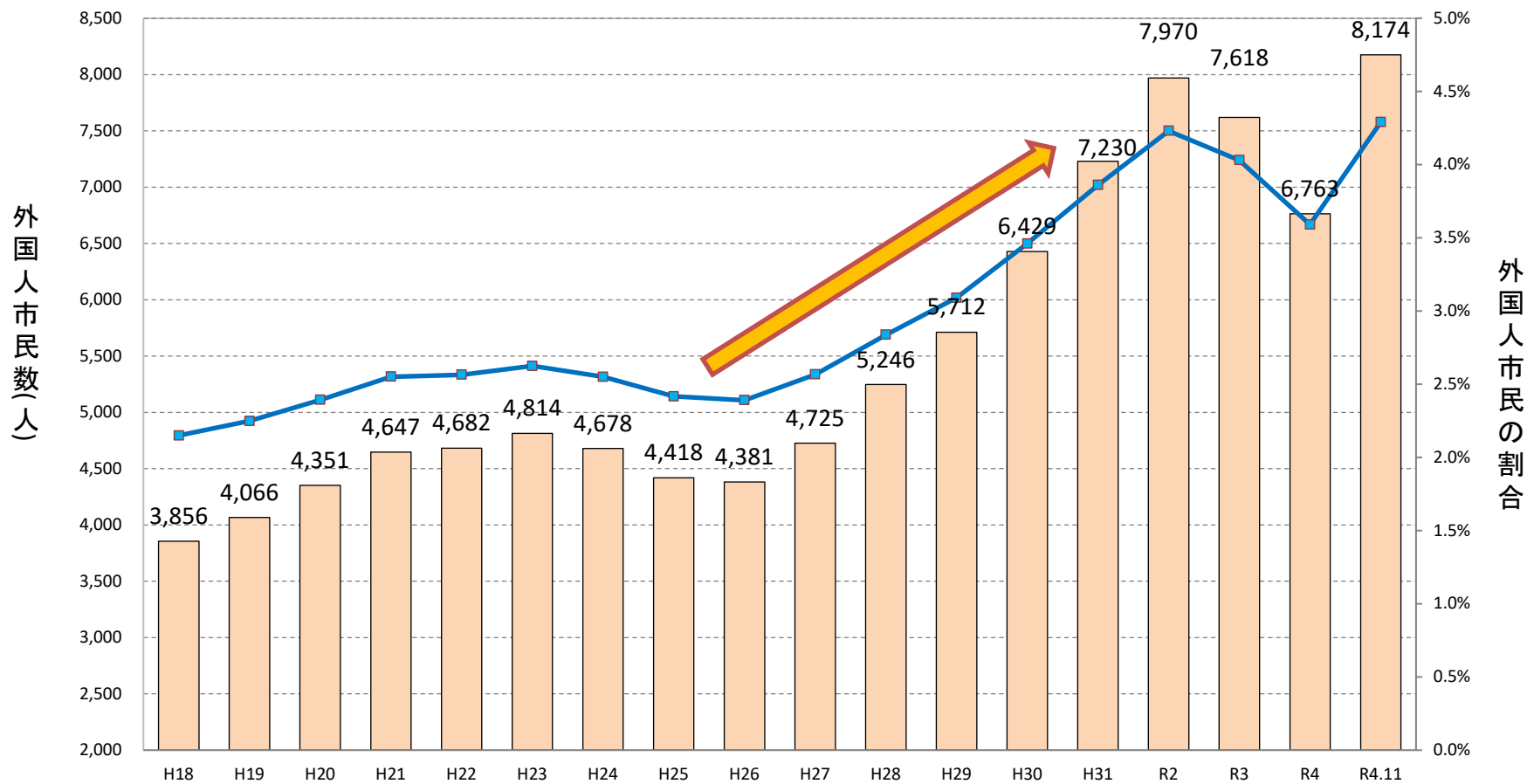
5. Town&Gown構想の展開

6. 共創コンソーシアムと次世代学園都市構想

7. 今後の方向性

2. 外国人市民の状況①

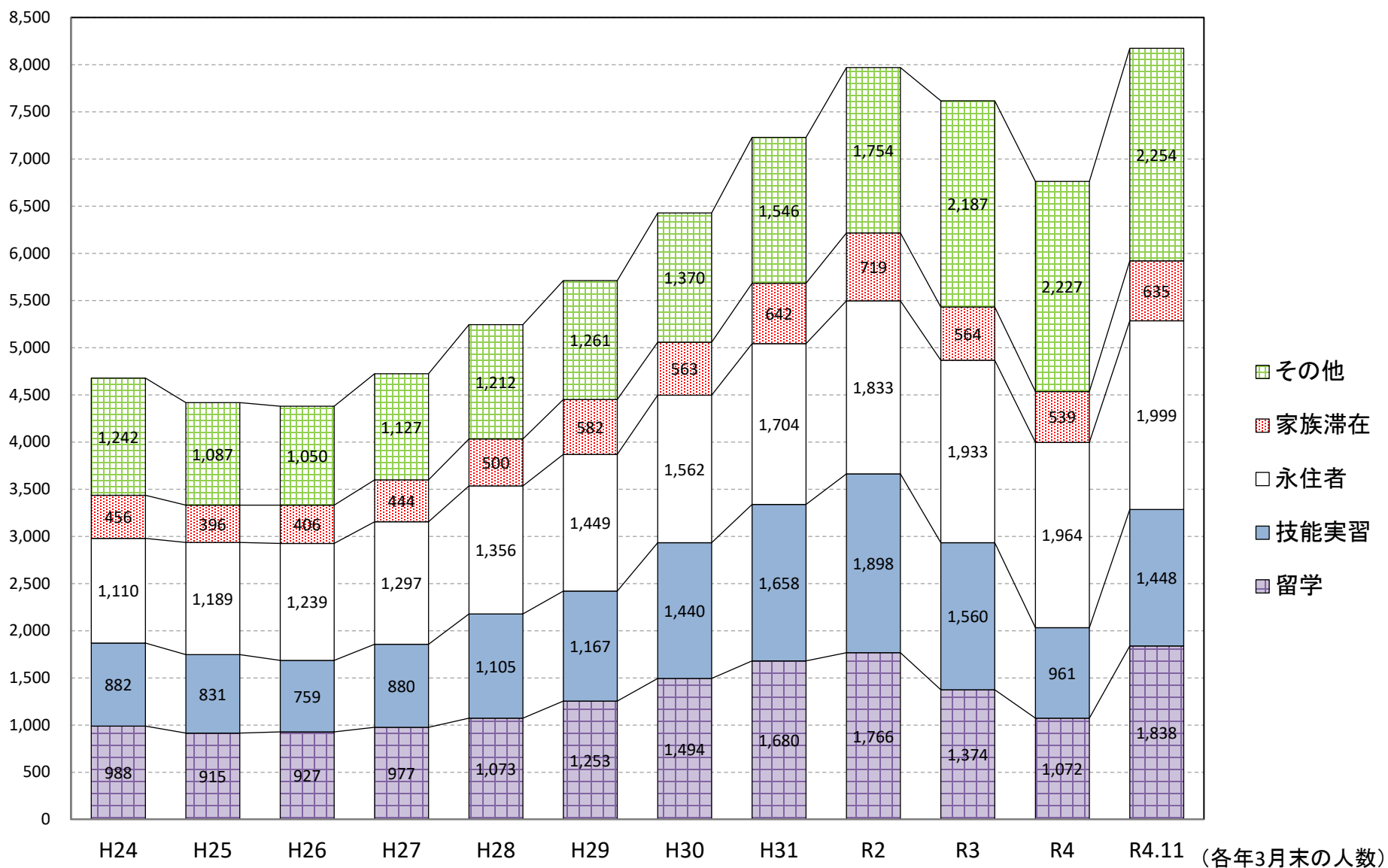
外国人市民数／総人口に占める外国人市民の割合推移



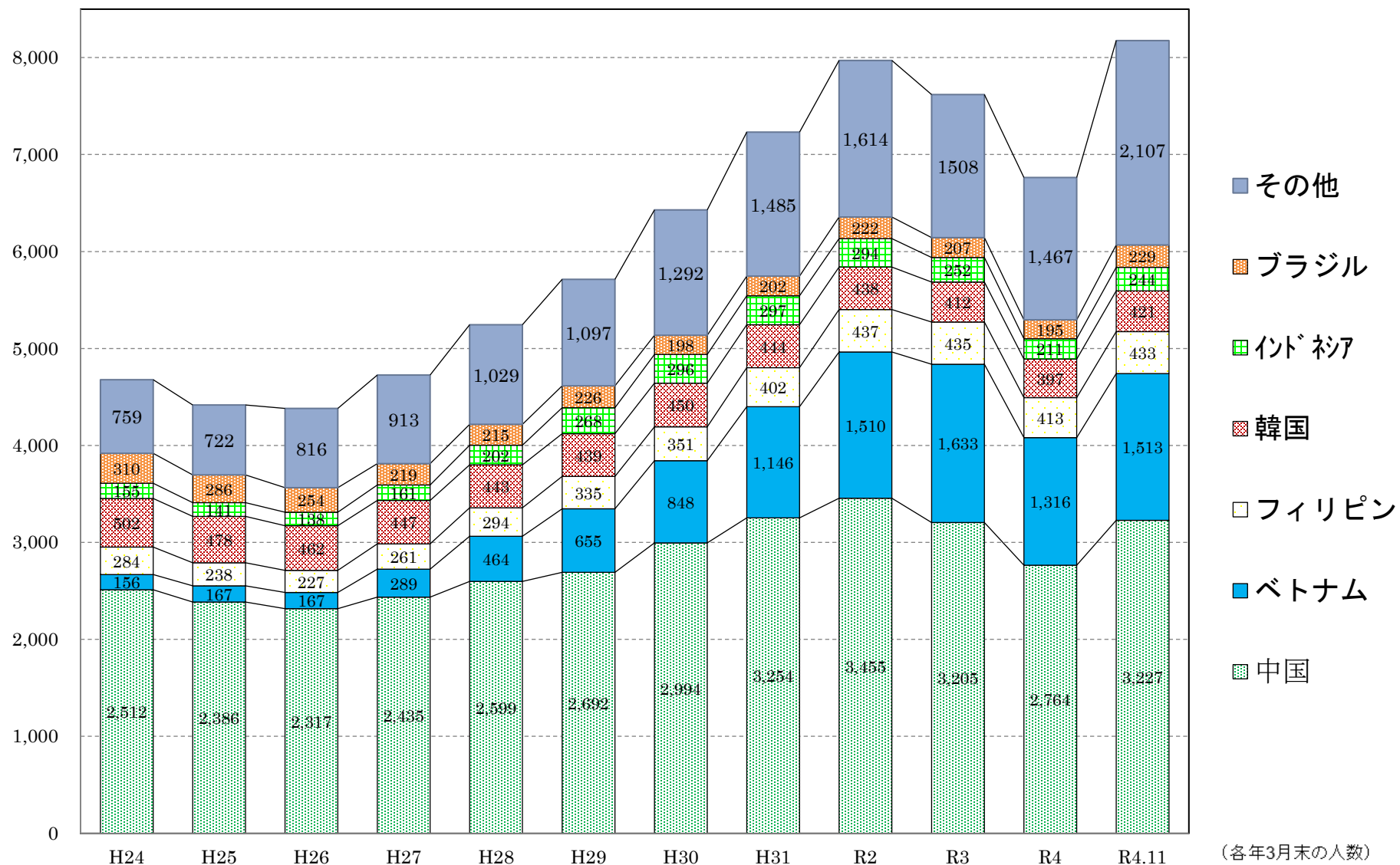
(各年3月末の人数)

2. 外国人市民の状況②

在留資格別外国人市民数の推移



国籍別外国人市民数の推移



1. 東広島市の概要

2. 外国人市民の状況

3. これまでのまちづくり

4. さらなる発展のための大学との連携

5. Town&Gown構想の展開

6. 共創コンソーシアムと次世代学園都市構想

7. 今後の方向性

8. グローバル人材の育成に関するまとめ

3. これまでのまちづくり

■ 学術試験研究機能の集積と広域交通網の充実、生活基盤の整備

- ・ 広島大学の統合移転 (合併当時の人口は約 66,000人)
- ・ 近畿大学工学部移転
- ・ 広島国際大学の設置
- ・ 広島中央サイエンスパーク(産学官の研究機関が立地する研究団地)の整備

- ・ 広島空港の開港
- ・ 山陽新幹線東広島駅の開業
- ・ 山陽自動車道、東広島呉自動車道の整備

- ・ JICA中国国際センター開所
- ・ 広島国際プラザ開所

■ 全国的にも注目される都市として成長

- ・ 人口増加 (市制30周年時の人口は約 123,000人)
大学等の立地による学生・高度な知識や技術を備えた研究者や
留学生、技能実習生などの多くの外国人の在住
- ・ 製造品出荷額増加

■ 人口増加の鈍化、成長の踊り場

- ・ 人口増加傾向の鈍化と自然減への移行
- ・ 産業構造の偏重と地域資源を活かしたイノベーションの不足
- ・ 次世代を担う人材の市外流出

→ 50年後、100年後を見据えた新たなまちづくりの必要性

1. 東広島市の概要
2. 外国人市民の状況
3. これまでのまちづくり
- 4. さらなる発展のための大学との連携**
5. Town&Gown構想の展開
6. 共創コンソーシアムと次世代学園都市構想
7. 今後の方向性

4. さらなる発展のための大学との連携①

時代の推移とともに、東広島市を取り巻く課題は刻々と変化しており、課題の解決とさらなる発展を目指したまちづくりの新たな取り組みが必要



令和元年度文部科学省事業

「科学技術イノベーションによる地域社会課題解決（DESIGN-i）」に着目

東広島市と広島大学が共同で

**「アカデミック・エンタープライズが駆動する
サステナブル・ユニヴァーシティ・タウン構想」を提案**

アカデミック・エンタープライズとは？

アリゾナ州立大学が掲げる高等教育の新しい運営理論

公的資金以外の収入基盤を多様化し、地域社会の課題解決に目を向けながら、
先端的な学術・研究の実施を展開していくもの



**Arizona State
University**

『全米で最も革新的な学校』に
5年連続選ばれる大学

4. さらなる発展のための大学との連携②

「アカデミックエンタープライズが駆動する
サステナブル・ユニヴァーシティ・タウン構想」とは？

広島大学

「アカデミック・エンタープライズ」を
駆動しながら、

持続可能な発展を導く科学を
まちづくりに活用

+

東広島市

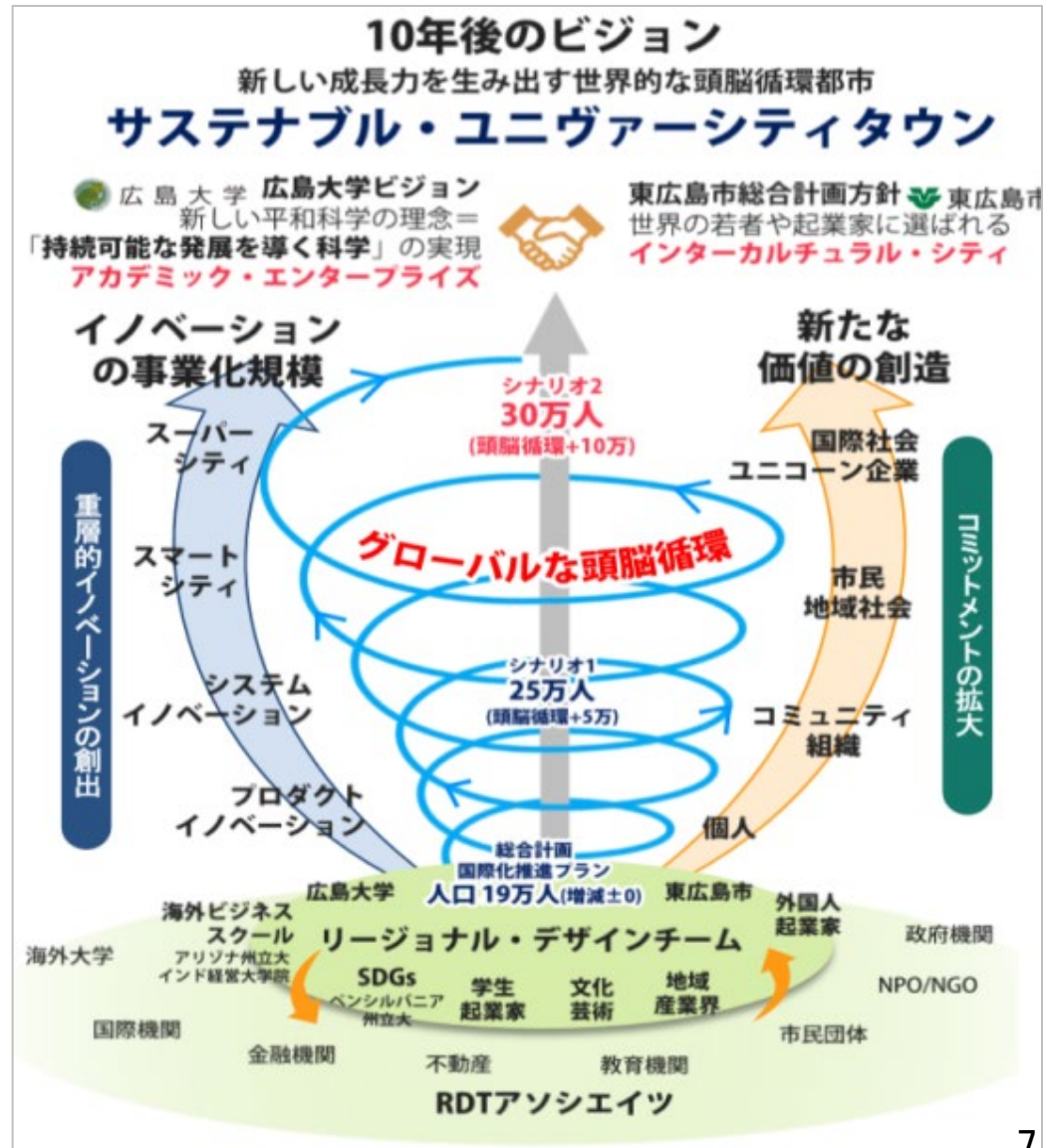
民間の知見を生かしながら
インターカルチュラル・シティ構想を、
戦略的に推進し、

世界の若者や起業家に選ばれる環境を
構築・展開



大学と市の取組みを両輪として
東広島地域がグローバルな頭脳循環のハ
ブとなり、人口増と民間主導の活性化を
達成しながら、
地方大学が地方創生に貢献するロールモ
デルのひとつとなりうる

**「サステナブル・ユニヴァーシティ・
タウン」を創る**



1. 東広島市の概要
2. 外国人市民の状況
3. これまでのまちづくり
4. さらなる発展のための大学との連携
- 5. Town&Gown構想の展開**
6. 共創コンソーシアムと次世代学園都市構想
7. 今後の方向性

5. Town&Gown構想の展開①

「アカデミックエンタープライズが駆動するサステナブル・ユニヴァーシティ・タウン構想」に取り組む中で着手した新たな構想

Town & Gown構想

- 地域（Town）と大学（Gown）双方の密接な連携により
地域課題を解決する取り組み
- 地域の自治体と大学が 包括的、日常的、継続的、組織的な関係 を構築の上、
自治体の行政資源と大学の教育・研究資源を融合しながら活用することで
**地域課題の解決に資する科学技術イノベーションの社会実装と
人材育成のための共創の場を通じて地方創生を実現し、
持続的な地域の発展と大学の進化をともに目指す構想**



※アリゾナ州立大学では、地元自治体と連携し、企業の誘致や研究費の獲得、生徒数の増を実現し、多大な経済効果を生み出すことに成功

5. Town&Gown構想の展開②

2019. 6	文部科学省補助事業DESIGN-iの採択 「サステナブル・ユニヴァーシティタウン構想」検討開始
2019.10	東広島市×広島大学 包括連携協定 「国際的研究拠点東広島の形成に関する協定」締結
2020. 4	Town & Gown Office準備室の設置
2021.1	住友商事(株) との三者包括協定
2021. 7	ソフトバンク(株)、(株)フジタ との三者包括協定
2021.10	広島大学フェニックス国際センターMIRAI CREA（ミライクリエ）開設 Town & Gown Office設置（MIRAI CREA内）
2022. 3	「広島大学スマートシティ共創 コンソーシアム」の設置 「東広島市次世代学園都市構想」の策定



- ・海外からの研究者や留学生を受け入れる居住施設68室を完備
- ・普段はコワーキングスペースとして多くの学生や研究者に利用される多目的エリアはワークショップやセミナーの会場としても利用

→研究者や学生、市民、企業家等幅広い人が集まり交流する
国際的なイノベーションハブ



東広島市長
高垣廣徳

広島大学長
越智光夫

広島大学の評価
＝東広島市の評価
フィールドや
リソースを提供！

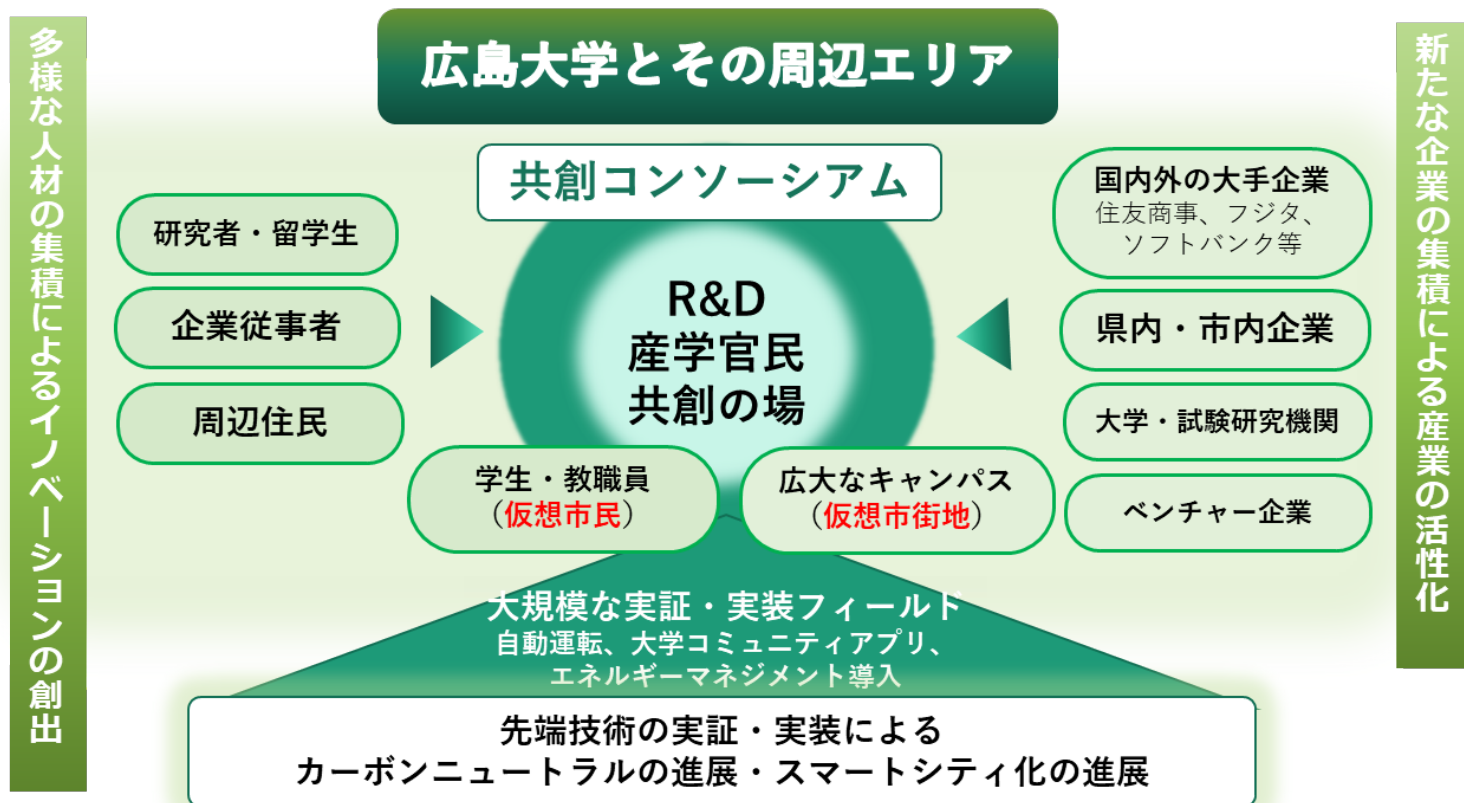
地域の社会的な
課題の解決に貢献！
研究・教育の
活性化！

1. 東広島市の概要
2. 外国人市民の状況
3. これまでのまちづくり
4. さらなる発展のための大学との連携
5. Town&Gown構想の展開
- 6. 共創コンソーシアムと次世代学園都市構想**
7. 今後の方向性

6. 共創コンソーシアムと次世代学園都市構想①

「広島大学スマートシティ共創コンソーシアム」の設立

- Town & Gownの取り組みに賛同した企業が集積し始める
- 広島大学・東広島市・賛同企業のアイデアを基に
新たなまちづくり（スマートシティ）の構想の検討を開始
- まちづくりを具体的に進めるため、推進母体となる共創コンソーシアムを設立

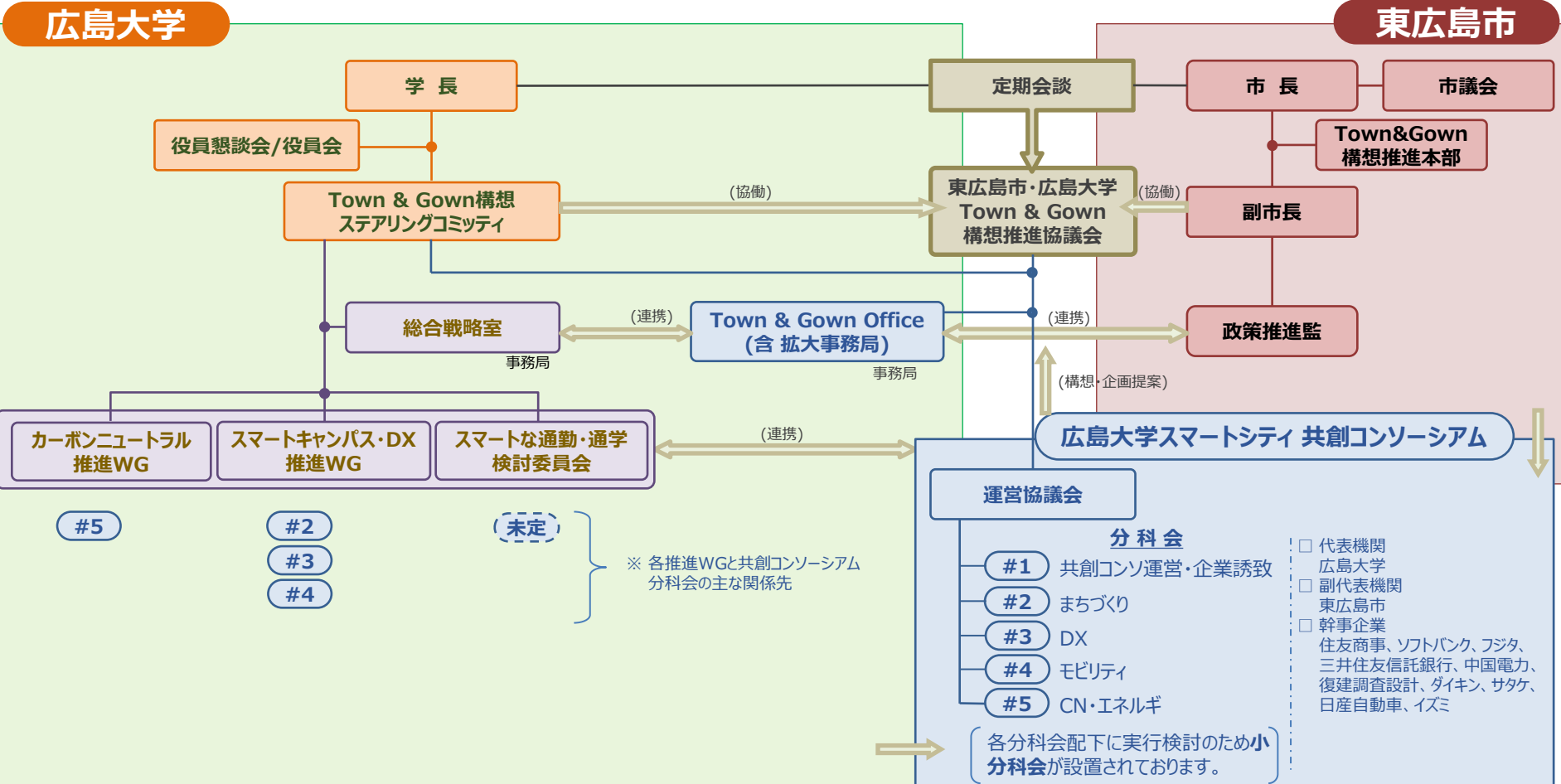


→国内外から起業家や研究者が集まるイノベーション創造の仕組みを構築

6. 共創コンソーシアムと次世代学園都市構想②

Town&Gown構想推進・実行体制

- 広島大学・東広島市が編成したTown&Gownの体制に共創コンソーシアムが加わる
- 各分野ごとに専門人材が参画し、より実効性の高い推進体制へ進化



※ 広島大学-東広島市間連携協定の下、編成。

6. 共創コンソーシアムと次世代学園都市構想③

「東広島市次世代学園都市構想」の策定

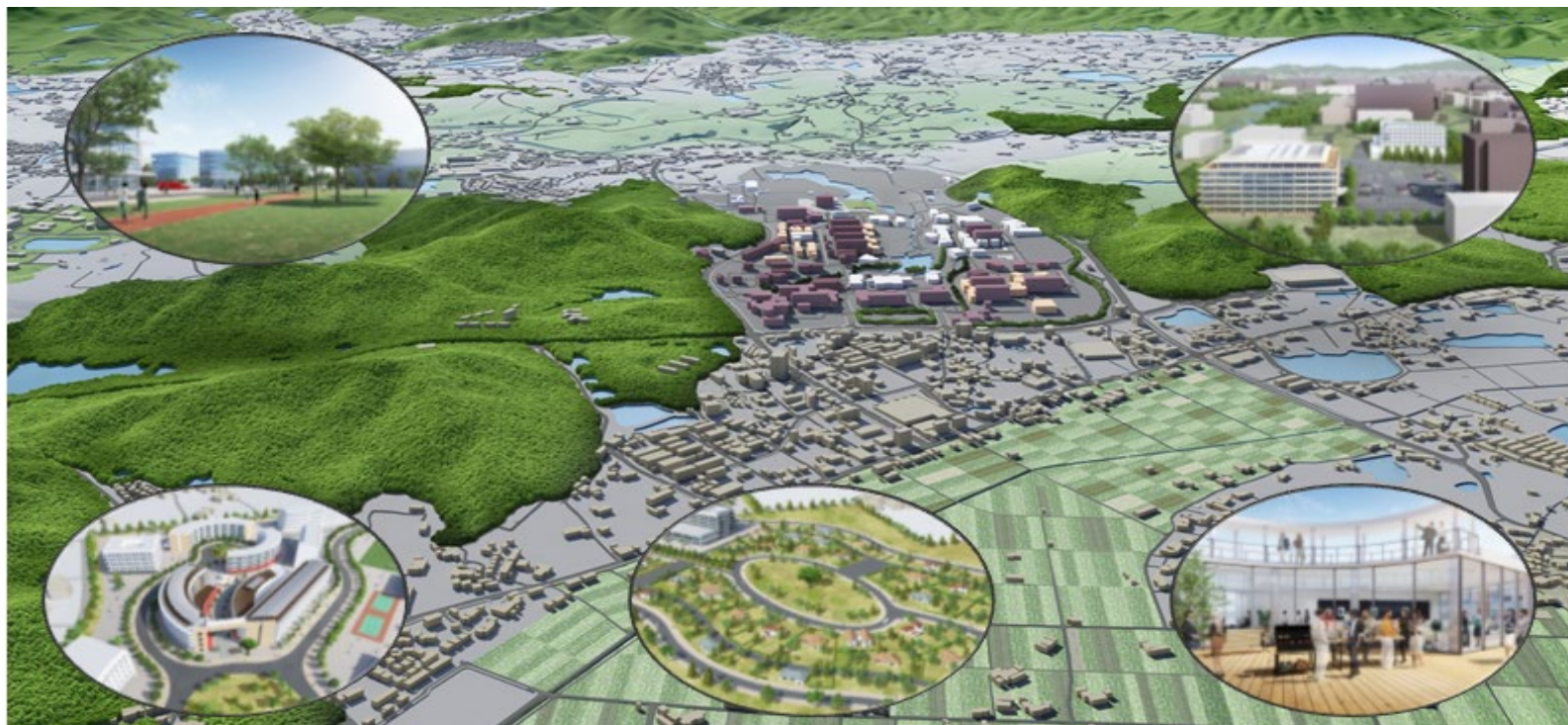
■ 検討してきたまちづくりの構想を「東広島市次世代学園都市構想」として取りまとめ

【3つの取組】

- イノベーションが起きる仕組みづくり
～快適性や利便性を含めた新たな価値の創出～
- グローバルスタンダードな生活環境づくり
～国際色豊かな魅力ある都市拠点の形成～
- 人づくり（学びと実践）
～地域全体のグローバルな頭脳循環への参加～

【期待する将来】

- 世界から起業家や研究者が集まるまち
- 新技術の社会実装と経済の好循環の実現
- ゆとりと魅力ある居住空間の実現
- 「適散・適集社会」の新たな都市モデルの構築

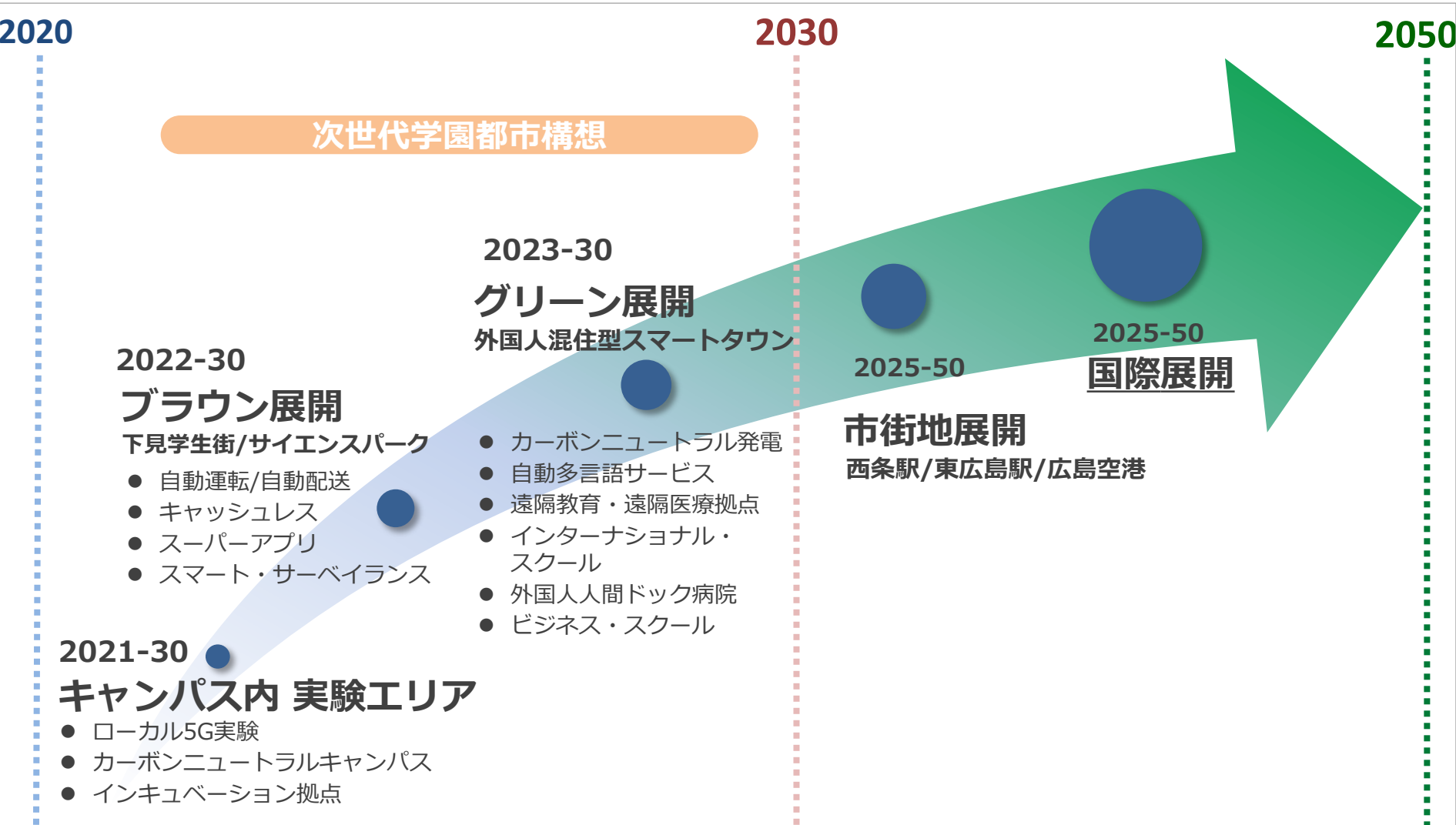


1. 東広島市の概要
2. 外国人市民の状況
3. これまでのまちづくり
4. さらなる発展のための大学との連携
5. Town&Gown構想の展開
6. 共創コンソーシアムと次世代学園都市構想
- 7. 今後の方向性**

7. 今後の方向性①

Town&Gown 構想のロードマップ

■ キャンパス内→大学周辺→東広島市全体に展開した後、
東広島モデルのスマートシティを国際展開へ繋げていくロードマップ



7. 今後の方向性②

■ 期待する将来を実現するために取り組む事業

広島大学を中心としながら**世界とのつながりの中で各分野の施策を展開**

交通 ～持続可能なモビリティシステムの実現～

- ・パークアンドライド、域内交通手段の整備
- ・公共交通との連携、開発したアプリとの連携などを展開
- ・歩車共存空間（シェアードスペース）の実現
- ・自動運転などの規制緩和や先端技術の実証、実装



（交通結節点のイメージ）

（人と次世代モビリティの共存空間のイメージ）

（取組みのアイデア）



健康・福祉 ～健康増進を促すまちづくりの実現～

- ・「健康～未病～病氣」の各状況を含めたライフログの管理と利活用
- ・バイタルデータを取得可能なデバイスの導入
- ・電子カルテ情報連携・医療統合データベース構築による医療の効率化・診断精度の向上



（健康ウェルネスの街のイメージ）

（取組みのアイデア）



経済・生産

～新技術の社会実装と経済の好循環の実現～

- ・データ連携基盤を活用したビジネスの普及・拡大
- ・イノベーション拠点の設置、オフィス、データセンターや研究機関等の誘致
- ・デジタル空間上での経済活動の活性化
- ・大学研究・開発の国内重要拠点として、内外の投資を呼び込む



（企業本社・研究所整備のイメージ）

（充実したイノベーション環境のイメージ）

（取組みのアイデア）



居住環境

～ゆとりと魅力ある居住環境の実現～



（ゆとりある住宅地のイメージ）

（街なか広場のイメージ）

（取組みのアイデア）

- ・グローバル人材として活躍する多くの研究者や企業をはじめ、国内外から住みたいまちとして選ばれる居住環境
- ・企業・行政・住民が共創するリビングラボの設置
- ・金融面におけるIT技術の普及によりあらゆるサービスがキャッシュレスで対応可能
- ・6G最先端技術を見据えたネットワークの構築



防災・防犯

～安全・安心なまちづくりの実現～

- ・AI、IoT、SNS活用など、ICTの防災施策への積極的な活用
- ・まちなかに蓄電スポットを整備して復元に優れた街を推進
- ・持続可能なエネルギー確保により、災害時に強い通信情報網を確立
- ・避難行動や滞在型避難に対応したリモート技術の構築



（取組みのアイデア）



教育環境

～グローバルに活躍できるデジタル人材の育成～



（インターナショナルスクールの整備イメージ）

（取組みのアイデア）



■ 東広島市内の大学への「Town&Gown」の展開（予定）

- ・近畿大学工学部 令和5年度Town&Gown Office設置
- ・広島国際大学 令和5年度Town&Gown Office準備室設置

→ 3大学と市の取り組みに市内企業・市民の参加を促進

グローバル人材の育成に関するまとめ

グローバル人材の育成に関するまとめ

- ①広島大学の統合移転を契機に進んだ東広島市のまちづくり
- ②人口は増加し、優秀な研究者や留学生が滞在するが定着せず市外流出
- ③成長の踊り場に差し掛かったタイミングで広島大学と共に掲げた
「アカデミック・エンタープライズが駆動するサステナブル・ユニヴァーシティ・タウン構想」
(世界の若者や起業家に選ばれる環境の構築)
- ④「Town&Gown構想」の展開
地域課題の解決に資する科学技術イノベーションの社会実装と**人材育成のための共創の場を通じて**持続的な地域の発展と大学の進化をともに目指す構想
- ⑤新たなまちづくりの推進母体となる共創コンソーシアムの設立
国内外から起業家や研究者が集まるイノベーション創造の仕組みを構築
- ⑥次世代学園都市構想の策定
グローバルスタンダードな生活環境づくり
地域全体のグローバルな頭脳循環へ参加する人づくりの実践
- ⑦**東広島モデルのスマートシティを国際展開へ繋げていく未来**に向かって取り組む6つの柱
(1)交通 (2)経済・生産 (3)防災・防犯 (4)健康・福祉 (5)居住環境 (6)教育環境
広島大学を中心としながら**世界とのつながりの中で各分野の施策を展開**

グローバル人材の育成に関するまとめ（今後の展望）

①Town & Gownの取り組みと大学のカリキュラムや研究が結びつき人材育成・技術移転

情報技術（DX）、カーボンニュートラル（GX）等の課題を中心とした実証フィールド

+ 企業の技術

+ 学生のアントレプレナーシップ、ベンチャー育成、大学の研究シーズの技術移転

②海外からの研究者・留学生の招聘・人材育成と企業の海外進出をセットで促進

・「大学教員の人的ネットワーク」や「卒業生のネットワーク」を企業と結びつける

③地方創生を考える自治体のメリット

・地方都市に人材が集まり活気が出る（地方都市が人材交流のハブになる可能性）

・こうした取り組みの「果実（成果）」が地域の中小企業、住民に波及

自治体の役割

⇒課題の抽出、実証フィールド（人・場所）の提供、地域とのコーディネート